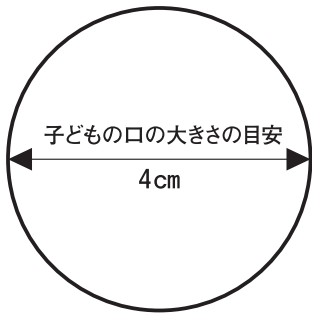


家の中の「危険」を探してみよう!居間・階段編(1)

家の中を安全にしよう

子どもは好奇心が旺盛です。また、予想外の行動をとることがあります。

1日の中でも子どもと過ごす時間が多い家の中。子どもの視線を意識した部屋づくりが大切です。



誤飲

子どもの口の大きさの目安は、約4cmです。左の円より小さなものは、子どもが口に入ると誤って飲み込み、窒息につながる危険があります。子どもが誤って飲み込むと危ないものに、どんなものがあるか、調べてみましょう。

家の中の「危険」を探してみよう!居間・階段編(2)

ベビー用品・おもちゃ

デザインよりも安全性を重視しましょう。子どもの発達や年齢にあったものを選び、安全マークがついている製品でも、注意事項を守って使いましょう。また、身近な製品で事故にあったときは、消費生活センターに連絡しましょう。



家具

家の中では、椅子から落ちる、転んだときにテーブルの角に頭をぶつけるなど、子どもの周りがある家具での事故が多いことを覚えておきましょう。

階段

階段は、転落や転倒の多い場所です。

大人が子どもを抱いて階段を上り下りするときに転ぶと、子どももけがをします。足元には注意しましょう。

子どもがハイハイできるようになると、目を離したすきに、階段を上り下りしようとして、転落することがあります。階段の上と下に柵を取り付けるなど、転落を防ぐ対策をしておきましょう。

子どもが歩けるようになって、階段を上り下りするときは、子どもの下側を歩くか、手をつないでゆっくり下りましょう。